


2014 年 北東アジア地域自治体連合（NEAR）
環境分科委員会報告資料

 日本国富山県
(2015 年 3 月)

目 次

I	環境分科委員会の活動状況	1
1	第11回環境分科委員会の開催	1
2	個別プロジェクトに関する調査の実施	2
II	個別プロジェクト	3
1	2014年個別プロジェクト	3
(1)	提案プロジェクト	3
(2)	各自治体の参加状況	3
(3)	プロジェクトの実施状況	4
①	プロジェクトNo. 1 北東アジア地域環境体験プログラム（遼寧省、富山県）	4
②	プロジェクトNo. 2 第8回国際環境フォーラム～国境のない自然～（沿海地方）	6
③	プロジェクトNo. 3 海辺の漂着物調査と漂着物アート制作（富山県）	8
④	プロジェクトNo. 4 北東アジア地域環境ポスター展（ハバロフスク地方）	9
2	2015年個別プロジェクト	10
(1)	提案プロジェクト	10
(2)	各自治体の参加意向調査結果	11
(3)	提案状況	11
①	プロジェクトNo. 1 北東アジア地域環境体験プログラム（富山県）	11
②	プロジェクトNo. 2 海辺の漂着物調査と漂着物アート制作（富山県）	12
③	プロジェクトNo. 3 北東アジア地域環境ポスター展（富山県）	14
III	次期コーディネート自治体	15
1	次期コーディネート自治体の希望調査の実施	15
2	調査結果	15
IV	環境分科委員会の活動計画	15

I 環境分科委員会の活動状況

1 第11回環境分科委員会の開催

(1) 開催日 2013年10月31日

(2) 参加自治体 4か国8自治体

日本 (3) 富山県、島根県、山形県

中国 (1) 黒龍江省

韓国 (2) 江原道、忠清南道

ロシア (2) 沿海地方、ハバロフスク地方

(3) 会議の結果

①次期コーディネート自治体の選出

次期コーディネート自治体として、富山県が選出された。

(任期：2013年7月14日～2015年7月13日)

②環境分科委員会の活動状況

環境分科委員会報告書の作成など、2012事業年度のNEAR環境分科委員会の活動状況について、富山県から報告があった。

③個別プロジェクトの成果報告(2008～2012年)及び実施状況(2013年)

2008～2012年における個別プロジェクトの成果及び2013年における実施状況について、次のとおり、提案自治体から報告があり、参加者は、「北東アジア環境パートナーシップフォーラムとやま宣言」(2007年12月)に掲げられたプロジェクトが活発に実施され、大きな成果をあげていること、今後も同宣言の共通認識に配慮して活動を推進することを確認した。

- ・黄砂を対象とした広域的モニタリング体制の構築(富山県から報告)
- ・北東アジア地域環境体験プログラム(富山県、江原道から報告)
- ・日本海・黄海沿岸の海辺の漂着物調査(富山県から報告)
- ・国際環境フォーラム「国境のない自然」(沿海地方から報告)

④NOWPAPの取組み紹介

NOWPAP-RCU富山事務所からNEAR環境分科委員会の成果を活用したNOWPAPの海洋ごみ対策などに関する取組紹介があり、参加者は、NOWPAPの活動内容やNEAR環境分科委員会の活動との関連などを確認した。

⑤2014年個別プロジェクトの提案調査結果

富山県は、2014年個別プロジェクトの提案調査の結果、4つの個別プロジェクトの提案があったことを報告した。

⑥2014年提案個別プロジェクトの説明

2014年に実施される次の個別プロジェクトについて、各提案自治体からの説明及びプロジェクトへの積極的な参加の呼びかけがなされた。

No.	プロジェクト名	提案自治体
1	北東アジア地域環境体験プログラム	富山県及び遼寧省
2	第8回国際環境フォーラム	沿海地方
3	海辺の漂着物調査と漂着物アート制作	富山県
4	北東アジア環境ポスター展	ハバロフスク地方

参加者は、個別プロジェクトを提案した遼寧省、沿海地方、ハバロフスク地方、富山県に敬意を表明し、積極的な参加を検討することとした。

⑦2015年以降のプロジェクト提案に向け検討している事業の紹介

2015年以降の個別プロジェクト提案に向けて検討している次の2つの事業について、富山県、NPECから検討内容等の情報提供があった。

- ・海辺の生物調査(NPEC)
- ・富山県と韓国自治体の環境NPO等交流モデル事業(富山県)

参加者は、今後、NEAR 環境分科委員会の活動を一層促進していくためには、NOWPAP、環境 NPO 等との連携、協力が重要であることを認識し、今後の新たなプロジェクト提案に向けて、情報提供のあった 2 つの事業やその他の新たな事業についても、検討を続けていくこととした。

⑧環境分科委員会の活動計画

富山県は、2013 及び 2014 年度の活動計画（案）を説明した。また、コーディネート自治体である富山県は、これまでの環境分科委員会の活動をとりまとめた「NEAR 環境分科委員会の 15 年の歩み（仮称）」の作成を検討していることを表明し、参加者に対し、作成への協力を要請した。参加者は、活動計画（案）を了承するとともに、「NEAR 環境分科委員会の 15 年の歩み（仮称）」の作成を歓迎した。

2 個別プロジェクトに関する調査の実施

- (1) 2014 年個別プロジェクトの参加意向調査の実施（2014 年 2 月）
- (2) 2014 年個別プロジェクトの実施状況調査の実施（2014 年 10 月）
- (3) 2015 年個別プロジェクトの提案調査の実施（2014 年 10 月）
- (4) 2015 年個別プロジェクトの参加意向調査の実施（2015 年 1 月）

II 個別プロジェクト

1 2014年個別プロジェクト

(1) 提案プロジェクト

No.	プロジェクト名	提案自治体
1	北東アジア地域環境体験プログラム	遼寧省 富山県
2	第8回国際環境フォーラム	沿海地方
3	海辺の漂着物調査と漂着物アート制作	富山県
4	北東アジア地域環境ポスター展	ハバロフスク地方

(2) 各自治体の参加状況 (◎：提案自治体 ○：参加)

プロジェクトNo.		1	2	3	4
自治体名					
日本	青森県	—	—	○	—
	山形県	—	—	○	—
	新潟県	—	—	—	—
	富山県	◎	○	◎	○
	石川県	—	—	○	—
	福井県	—	—	○	—
	京都府	—	—	○	—
	兵庫県	—	—	○	—
	鳥取県	—	—	○	—
	島根県	—	—	○	—
	山口県	—	—	○	—
	佐賀県	—	—	○	—
	長崎県	—	—	○	—
	中国	遼寧省	◎	—	—
北京市		○	—	—	—
黒龍江省		○	—	—	○
韓国	江原道	○	—	○	○
	忠清南道	○	—	○	○
	慶尚南道	○	—	○	○
ロシア	アムール州	—	—	—	—
	ブリヤート共和国	—	—	—	—
	イルクーツク州	—	—	—	—
	ハバロフスク地方	○	○	○	◎
	沿海地方	○	◎	○	○
	サハ共和国	—	—	—	—
	サハリン州	—	○	—	—
	ザバイカリエ地方	—	—	—	—
モンゴル	中央県	—	—	—	—
	セレンゲ県	—	—	—	—
参加自治体数		9	4	17	8

(3) プロジェクトの実施状況

① プロジェクト No. 1 「北東アジア地域環境体験プログラム」(遼寧省、富山県)

1 目的

自治体・経済界・学界が連携して、青少年に対して北東アジア地域における環境問題を直に体験(環境ボランティア活動)する機会を提供することによって、現状への認識を高めるとともに、国際環境協力に対する理解を深め、自ら行動できる人材を育成することを目的とする。

2 事業内容

(1) 実施時期 2014年8月20~21日

(2) 実施場所 中国遼寧省盤錦市 崑崙ホテルほか

(3) 実施方法

ア テーマ:「人・鳥・湿地 — 私たちが共有する世界」

イ 活動内容:

- ・各参加自治体の代表者からの活動発表
- ・水鳥の生息地見学
- ・環境保全PR横断幕の制作、署名
- ・「2014環境宣言」の発表



環境保全の活動発表



環境保全PR横断幕の制作、署名

ウ 参加自治体 遼寧省、北京市、黒龍江省、江原道、忠清南道、慶尚南道、ハバロフスク地方、沿海地方、富山県

エ 参加者数 4か国9自治体の中高生96名

オ 年間計画 5月 参加者募集

8月 体験プログラム実施

カ その他

実施状況の詳細は、下記、ホームページに掲載している。

(http://http://www.npec.or.jp/northeast_asia/youth/program/index2.html)

3 2013 年度事業結果

- (1) 参加自治体 遼寧省、黒龍江省、江原道、忠清南道、慶尚南道、ハバロフスク地方、沿海地方、富山県
- (2) 参加者数 4か国8自治体の中高生 62名
- (3) 実施結果
 - ・ 時期：2013年8月21日～22日
 - ・ 場所：大韓民国江原道 原州市「江原道自然学習院」
 - ・ テーマ：「みんなで一緒に—環境保全活動」
 - ・ 活動発表：各参加自治体の代表者からの活動発表
 - ・ 環境体験：北東アジア環境UCCプロジェクト（グループに分かれ環境保全に関する啓発用の動画を制作）
 - ・ その他：「2013 環境宣言文」の発表



グループ毎に動画（環境UCC）制作



優秀作品表彰式

② プロジェクト No. 2 「第 8 回国際環境フォーラム～国境のない自然～」(沿海地方)

1 目的

- ・環境保全分野における現状と課題、今後の方向性についての包括的な議論
- ・天然資源の合理的な利用や環境保全分野における、地方自治体レベルも含めた国際経験の総括及び国際協力の発展

(趣旨)

北東アジア地域の特徴としてあげられるのは国境を越えた現象が広範囲に及んでいるということである。北東アジアの多くの地域と海洋等は大規模な越境地域でもある。

今回のフォーラムのテーマは「環境とビジネス：対立から相互理解へ」であり、このテーマの枠組の中で、地域経済の集約的発展課題及び汚染物質の越境問題を含めた自然環境への影響を最小限に抑えることについて検討された。

2 事業内容

(1) 実施時期

2014年10月23日～24日

(2) 実施場所

ウラジオストク市(国立極東大学)

(3) 主催等

主催：沿海地方政府 後援：国連環境計画ロシア委員会(UNEPKOM)、
ロシア科学アカデミー極東支部、極東国立大学

(4) 実施方法

各自治体は、環境保全に関心を持つ科学者、専門家、NGO、NPO、企業などに、「第8回国際環境フォーラム～国境のない自然～」の開催について、情報提供し、参加を呼びかけるとともに、自治体の代表者を含む代表団を派遣する。

以下のとおりの議題で、討議セッションや円卓会議を開催した。

- ・都市環境：環境影響の低減に対する企業の役割
- ・持続可能な発展・自然利用の確保：解決方法について
- ・ロシア極東地方でのエネルギー産業プロジェクト実施を通じた、国・企業・市民社会の相互利益の調和のための基盤となる公開対話
- ・東アジアの淡水域及び沿岸海域の問題解決における、地方自治体、学界、企業の役割
- ・ロシア極東地方における放射性物質等の危険物の排除に関する環境プロジェクト：現状、課題、見通しについて
- ・沿海地方の各自治体における廃棄物処理の問題
- ・淡水資源の管理
- ・環境法令：規制強化か、自由化か
- ・環境教育や観光の問題

(5) 参加者

北東アジア地域の国々に参加を呼びかけ、ハバロフスク地方、サハリン州、富山県からの代表など、400人以上の専門家が参加した。

(6) 年間計画

これまで、2006年から2009年まで、2011年から2013年までのフォーラムがウラジオストク市で開催され、毎回約400人の専門家が参加している。

沿海地方政府はウラジオストク市での環境フォーラムの開催を継続する予定である。

(7) その他

詳細な情報は、次のフォーラムのホームページに記載している。

<http://naturewithoutborders.ru/>

□フォーラムの開催風景



③ プロジェクト No. 3 「海辺の漂着物調査と漂着物アート制作」(富山県)

1 目的

- ①人工物による海辺の汚染実態を継続的に把握することにより、海洋環境保全対策、廃棄物対策等を推進するための基礎資料とすること
- ②海岸漂着物を利用したアート作品の制作などを通して、子供たちが海岸漂着物の実態や海洋環境保全について学習し、その発生源となるごみを出さないための行動を自ら実践していくきっかけとすること
- ③地域住民の調査への参加及びアート作品の制作体験を通して「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心を育む」という共通意識を醸成し、環境教育を推進すること。

2 事業内容

子どもや市民の参加を得て、漂着物調査や海洋環境保全学習を行う。また、可能な自治体においては、漂着物を利用したアート作品の制作を行う。

(1) 実施方法等

①海辺の漂着物調査

- a. 実施時期:2014 年秋季
- b. 実施場所:参加自治体の沿岸地域
- c. 実施方法:調査は各自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て実施
調査結果は富山県((公財)環日本海環境協力センター(NPEC))がとりまとめを実施

②漂着物アート制作

- a. 実施時期:通年
- b. 実施場所:各参加自治体内の会場等
- c. 実施方法:富山県が提供する手引書等を参考として、各自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加、協力を得て実施

(2) 参加自治体

- ・海辺の漂着物調査:北東アジア地域沿岸の17自治体
- ・漂着物アート制作:北東アジア地域沿岸の5自治体

3 2013 年度事業結果

(1) 参加自治体

北東アジア地域自治体連合会員とその他の自治体を合わせた18自治体

(2) 実施結果

3か国18自治体の48海岸で調査を実施

実施結果報告書は、「海洋ごみポータルサイト」(下記リンク)で公開

<http://www.npec.or.jp/umigomiportal/result/index.html>

④ プロジェクト No. 4 「北東アジア地域環境ポスター展」(ハバロフスク地方)

1 目的

北東アジア地域の次代を担う子どもたちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀作品を展示することにより、市民の北東アジア地域の環境保全意識を一層深める機会とする。

2 事業内容

(1) 実施時期 2014年10月～12月

(2) 実施場所 ロシア ハバロフスク地方(ハバロフスク地方立グロデコフ記念博物館、ナヴォロチキン記念地方立児童図書館)

(3) 実施方法

- ・ハバロフスク地方において環境ポスターコンクール実施(5月～6月)
- ・参加自治体から作品送付(7月～9月)
- ・環境ポスターの国際展示会「子供の目を見た環境保全」を開催(10月～12月)
- ・ハバロフスク地方天然資源省のオフィシャルサイトに環境ポスター展を掲載(12月)
- ・参加自治体へ作品返却

(4) 参加自治体

富山県、遼寧省、黒龍江省、江原道、忠清南道、慶尚南道、沿海地方、ハバロフスク地方

(5) 年間計画

4月～6月 (各自治体で環境ポスターコンクール実施)

5月 参加自治体へ作品送付依頼

7月～9月 参加自治体から作品送付

10月～12月 環境ポスター展開催

2月～3月 参加自治体へ作品返却

(6) その他

環境ポスター展の開催風景



2 2015年個別プロジェクト

(1) 提案プロジェクト

No.	プロジェクト名	提案自治体
1	北東アジア地域環境体験プログラム	富山県
2	海辺の漂着物調査と漂着物アート制作	富山県
3	北東アジア地域環境ポスター展	富山県

(2) 各自治体の参加意向調査結果 (◎：提案自治体 ○：参加意向自治体)

プロジェクト No.		1	2	3
自治体名				
日本	青森県	—	—	—
	山形県	○	○	—
	新潟県	—	—	—
	富山県	◎	◎	◎
	石川県	—	○	—
	福井県	—	○	—
	京都府	—	○	—
	兵庫県	—	—	—
	鳥取県	—	○	○
	島根県	—	○	—
	山口県	—	○	—
	佐賀県	—	○	—
	長崎県	—	○	—
	中国	遼寧省	○	—
黒龍江省		○	—	○
河北省(秦皇島市)		—	—	—
韓国	江原道	○	○	○
	忠清南道	○	○	○
	慶尚南道	○	○	○
ロシア	アムール州	—	—	—
	ブリヤート共和国	—	—	—
	イルクーツク州	—	—	—
	ハバロフスク地方	○	○	○
	沿海地方	○	○	○
	サハ共和国	—	—	—
	サハリン州	—	—	—
モンゴル	中央県	—	—	—
	セレンゲ県	—	—	—
参加意向自治体数		9	15	8

(3) 提案状況

① プロジェクト No. 1 「北東アジア地域環境体験プログラム」(富山県)

1 目的

自治体・経済界・学界が連携し、青少年に対して北東アジア地域における環境問題を直に体験(環境ボランティア活動)する機会を提供することにより、現状への認識を高めるとともに、国際環境協力に対する理解を深め、自ら行動できる人材を育成することを目的とする。

2 事業内容

(1) 実施時期 2015年8月

(2) 実施場所 日本国富山県

(3) 実施方法等

テーマ:「海洋環境保全」(仮)

参加者数:各参加自治体8名程度(青少年6名、指導者2名)を予定

(4) 年間計画

2015年5月頃 参加者募集

2015年8月 北東アジア地域環境体験プログラム実施

(5) 期待される成果

- ・北東アジア地域の環境問題に対する理解や共通認識が深まるとともに、環境保全活動への参加意欲の向上が期待できる。また、ともに取り組んでいくといった連帯感が生まれ、国際的なネットワークの構築につながる。
- ・環境問題解決に主体的に参画し、提案できる人材の育成が期待できる。

3 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請の内容

開催自治体 ・テーマの企画、参加者の募集、ワークショップ等の開催
・地元の経済界や学界への協力要請

参加自治体 ・参加者の募集・派遣

(2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無

あり

イ 経費負担の概要

- ・開催自治体への渡航費は参加自治体が負担する。
- ・現地滞在費及びワークショップ開催費用については、開催自治体が負担する。

(3) 参加要請自治体

すべての北東アジア地域自治体連合会員ほか

② プロジェクト No. 2 「海辺の漂着物調査と漂着物アート制作」(富山県)

1 目的

- ① 人工物による海辺の汚染実態を継続的に把握することにより、海洋環境保全対策、廃棄物対策等を推進するための基礎資料とすること
- ② 海岸漂着物を利用したアート作品の制作などを通して、子供たちが海岸漂着物の実態や海洋環境保全について学習し、その発生源となるごみを出さないための行動を自ら実践していくきっかけとすること
- ③ 地域住民の調査への参加及びアート作品の制作体験を通して「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心を育む」という共通意識を醸成し、環境教育を推進すること。

2 事業内容

子どもや市民の参加を得て、漂着物調査や海洋環境保全学習を行う。また、可能な自治体においては、漂着物を利用したアート作品の制作を行う。

(1) 実施方法等

①海辺の漂着物調査

- a. 実施時期:2015 年秋季
- b. 実施場所:参加自治体の沿岸地域
- c. 実施方法:調査は各自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て実施
調査結果は富山県((公財)環日本海環境協力センター(NPEC))がとりまとめを行う
- d. 備考:2015 年秋頃に富山県富山市において海岸漂着物対策の関係者が情報交換・意見交換を行う会議を予定

②漂着物アート制作

- a. 実施時期: 通年
- b. 実施場所: 各参加自治体内の会場等
- c. 実施方法: 富山県が提供する手引書等を参考として、各自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加、協力を得て実施

(2) 期待される成果

- ・プラスチック等の人工物による海辺の汚染実態の継続的把握
- ・「ごみを捨てない心、海洋環境を守ろうとする心を育む」という住民の環境保全に対する意識の高揚

3 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請の内容:

①海辺の漂着物調査

- ・ 調査海岸の選定
- ・ 調査を実施する民間団体等の確保
- ・ 調査を実施する民間団体等の指導、調査の実施
- ・ 調査結果の本県への報告

②漂着物アート制作

- ・ 会場、移動手段の選定、手配
- ・ 制作で使用する道具・材料等の準備
- ・ 制作用の漂着物の回収、洗浄
- ・ 実施団体や参加者との連絡調整

(2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無

あり

イ 経費負担の概要

①海辺の漂着物調査

・必要な経費は参加自治体による負担とする。

ただし、巻尺、ピンセット、はかりなど調査に必要な機材の購入代や、移動に伴うガソリン代、写真現像代などの経費の一部を、富山県が予算の範囲内で負担する予定。

②漂着物アート制作

・必要な経費は参加自治体による負担とする。

ただし、参加者の保険料や移動に要する交通費（バス等）、制作で使用する道具・材料費、会場費などのアート作品の制作に必要な費用及び講師等の派遣費用については、富山県が予算の範囲内で負担する予定。

(3) 参加要請自治体

日 本：北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、石川県、福井県、京都府、
兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県

中 国：遼寧省、河北省、山東省、江蘇省

韓 国：江原道、忠清南道、慶尚南道

ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州

※ その他北東アジア地域の沿岸自治体に広く参加を呼びかける。

③ プロジェクト No. 3 「北東アジア地域環境ポスター展」(富山県)

1 目的

北東アジア地域の次代を担う子どもたちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀作品を展示することにより、市民の北東アジア地域の環境保全意識を一層深める機会とする。

2 事業内容

(1) 実施時期

2015年10月

(2) 実施場所

富山県

(3) 実施方法

- ・各参加自治体内で子どもたち(小中学生を対象)から作品募集、審査
- ・各参加自治体が優秀作品を開催自治体に送付
- ・開催自治体で各参加自治体の作品展示、普及啓発を実施

(4) 年間計画

4月～7月 参加自治体との連絡調整、作品募集、送付
10月 環境ポスター展の開催
1～3月 作品返送

(5) 期待される成果

北東アジア地域の環境問題に対する理解や共通認識が深まる。

3 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請内容

ア 開催自治体

- ・参加自治体への開催通知、優秀作品の送付依頼
- ・開催自治体内で作品募集、審査
- ・参加自治体から送付された作品でポスター展を開催、普及啓発の実施
- ・作品を参加自治体に返却

イ 参加自治体

- ・参加自治体内で作品募集、審査
- ・優秀作品(タイトル、作者のメッセージ等とあわせて)を開催自治体に送付
(2015年の募集作品が時期的に送付できない場合は、2014年の作品でもよい)

(2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無

あり

イ 経費負担の概要

- ・ポスター展や普及啓発イベント等の開催費用は、開催自治体が負担する。
- ・参加自治体から開催自治体への作品の送料は、参加自治体が負担する。
- ・開催自治体から参加自治体への作品の返送の費用は、開催自治体が負担する。

(3) 参加要請自治体

すべての北東アジア地域自治体連合会員ほか

Ⅲ 次期コーディネート自治体

1 次期コーディネート自治体の希望調査の実施

- (1) 実施時期 2015年2月
 (2) 調査自治体 北東アジア地域自治体連合環境分科委員会会員自治体 (22自治体)

2 調査結果

希望自治体 富山県

Ⅳ 環境分科委員会の活動計画

年 月	内 容
2014年11月	・2014年個別プロジェクト実施状況及び2015年提案個別プロジェクトの調査 コーディネート自治体が、2014年個別プロジェクトの実施状況調査を行った。 併せて、2013年に実施予定の個別プロジェクトの提案調査を行った。
11～12月	・2015年提案個別プロジェクトの取りまとめ コーディネート自治体が、提案のあった2015年個別プロジェクトを取りまとめた。
2015年2月	・2015年個別プロジェクト参加意向調査 コーディネート自治体が、北東アジア地域自治体連合の会員自治体に2013年 個別プロジェクトへの参加意向調査を行った。
3月	・2015年個別プロジェクト参加意向調査結果のとりまとめ コーディネート自治体が、参加意向調査結果を取りまとめた。
(適宜実施)	・提案自治体と参加意向自治体が個別プロジェクトの実施に向けて協議する。 ・合意があった場合、適宜個別プロジェクトを実施する。
3月	・環境分科委員会報告資料の作成 コーディネート自治体が、環境分科委員会報告資料を作成し、北東アジア地 域自治体連合の会員自治体に送付する。(※環境分科委員会は隔年開催)
8～10月	・2015年個別プロジェクト実施状況及び2016年提案個別プロジェクトの調査 コーディネート自治体が、2015年個別プロジェクトの実施状況調査を行う。 併せて、2016年に実施予定の個別プロジェクトの提案調査を行う。 ・2016年提案個別プロジェクトの取りまとめ コーディネート自治体が、提案のあった2016年個別プロジェクトを取りま とめる。
秋頃	・北東アジア地域自治体連合第12回環境分科委員会の開催 (議題)・これまでの個別プロジェクトの成果報告 ・2015年個別プロジェクトの実施状況 ・2016年個別プロジェクトの提案状況 ・次期コーディネート自治体の選出 等